

350億円の「日よけ」は半年で解体
テーマに反するイスラエル参加、おまけにガス爆発

大阪万博は きっぱり**中止**を!!



万博半年
あとはカジノに
バトンタッチ

問題だらけの万博より 被災地の復興を優先して

「大阪万博」は問題が山積みです。約350億円かけて建設する一周2キロの「大屋根リング」は、わずか半年で取り壊す予定です。

イスラエルのガザ地区への攻撃で33000人を越す犠牲者が出ていますが、政府はイスラエルの万博参加を受け入れました。万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」、イスラエルの行動がテーマと相いれるのか問われた上川外相は、「(万博参加を取りやめた)ロシアの行動と同列に扱うことは適当でない」と苦しい言い訳をしました。参加国が予定を下回る現状で、虐殺行為が国際的に非難されている国でも受け入れる政府と万博協会の姿勢が問われます。

3月28日には建設現場でガス爆発が起きました。事故現場の夢州1区は廃棄物の処分場だった場所で、可燃性ガスやダイオキシンなど有害物質が大量に埋まっています。地元から「恐れていたことがおこった」と声があがっていますが、白見万博相は「開催は危険だと認識していない」と述べ、開き直りました。

問題だらけの大阪万博はきっぱり中止し、能登半島被災地の復興を優先するべきです。

日本を**死の商人**に落ちぶれさせる 武器輸出反対!

3月26日、岸田政権は日・英・伊の3か国が共同開発する「次期戦闘機」の他国への輸出を可能とする閣議決定を強行しました。この決定は、武器輸出は行わないとしてきた歴代政権の姿勢を覆すものです。

三木武夫元首相時代の1976年には、「国際紛争を助長しない」として、「武器輸出三原則」で事実上の武器輸出を全面的に禁止しました。鈴木善幸元首相時代の1981年には、「武器輸出三原則」の厳格な運用を求める決議を衆参両院、全会一致で可決しました。宮沢喜一元首相は、「我が国は武器を輸出して稼ぐほど落ちぶれてはいない」と国会で答弁しました。

閣議決定は、日本を「死の商人国家」に落ちぶれさせるものです。「正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し」とする憲法第九条に違反する閣議決定は、認められません。世論の力で他国への武器輸出を阻止しましょう。

